

令和6年度第1回東大和市学校給食センター 運営委員会専門部会でのご意見等の要約

1 学校給食費について

- ・事務局案の単価で足りるか不安に感じる。現在の給食では量が少ないと感じた。
 - 給食の配食量については東大和市内の全校で10%程度の残菜があり、提供量を増やすとそのまま残菜量の増加につながる恐れがあるので、単純な増量は難しい。
- ・今後、物価高騰が続いた場合に、毎年のように改定を行わなければいけないような金額ではなく、先を見据えて高めに設定した方が良いのではないかと。
 - 給食費の改定を行うにあたり、改定額の根拠が必要となるため、算定できない金額に改定することは難しい。
- ・毎年決まった時期に季節のメニューなど出せるような金額にして欲しい。
 - 事務局案の単価であれば、季節のメニュー等も出せるようになるのではないかと考えている。

2 その他

- ・食事の仕方やマナーについての食育をもっと行ってほしい。
- ・保護者も含めて、食育を行えるような仕組みがあってもいいと思う。
- ・食べている物がどこから来ているのか、どうやって作っているのかといった食育を行ってほしい。
- ・栄養素の確保だけでなく、子どもたちが学校給食に楽しみを見出せるような学校給食にして欲しい。
- ・家で食べないような、いろいろなものを給食で出してくれることがありがたい。
- ・牛乳の選択制について実施予定や情報はるか。